出展社紹介

～注目の「ライフスタイル提案ゾーン」～

有限会社 エムズシステム
モリタインテリア工業 株式会社

今回のインターナショナルホームファッションフェアで、最大の目玉となるのが、会場の中央に設置された、「ライフスタイル提案ゾーン」。今回はそこで展示したモリタインテリア工業㈱と㈱エムズシステムのコラボレーションブースを取材した。

―㈱エムズシステムの沿革をお願いします。

弊社は、2000年9月に設立をいたしました。2003年5月に装飾スピーカーMS1001発表、2004年には東京都知事より、創業的新製品開発企業として「経営革新」企業に認定されました。2005年3月には、装飾スピーカー「シュエット」も発表、11月には100%デザインTOKYO公式オーディオに選定。2006年4月にはミラノサローネにて新Kライン発表、12月には東京国際フォーラムにて「建築家のいない建築会」を実施。

2007年1月にはオリジナルアンプMS-AMP12を発表、3月には装飾ヒルズにて、「建築家のいない建築会」を実施、また、六本木ミッドタウンにモデルショップがオープン。またリッツカールトン東京でエムズシステムが採用されました。

MS1001 ¥128,000

―今回の「ホームファッションフェア」出展の目的、どういったバイヤーとの出会いを希望されていますか。

私たちエムズシステムはスピーカーを開発・製造・販売していますが、音響メーカーというよりも、空間を再生・創造するクリエイターとしての役割を担っていると思います。空気の振動である「音」が変わると、空間自体も変化します。私たちが生きている空間をより快適なものにする全く新しいツールとして、このスピーカーを提案していきたいと考えています。

インテリアという概念をもう一度見直し、ホームファッションとして捉えたときに「音」は更に重要視を増すと思います。その転換期に出展できることを大変うれしく思いますし、大きく転換していく原動力の一部になれたら良いと思い出展させて頂くことになりました。次代が求め、目指すもの、本当の本物を探していらっしゃる方々に気付いて頂くことが一番うれしいことです。

―アピールしたいポイントをお願いいたします。

今回は世界で初めて本当のホームシアターサウンドである「ドコデモ」を発表します。今までであった制約者がひとりだけのパーソナルシアターではなく、家族や友達がソファに並んでいても、よりリアルで迫力のあるサウンドを開発である「ドコデモ」をモリタインテリア様の提案するリビングで体感して頂きたいと思います。

またエムズシステムの誇る最上位機種がデ・リッツ・カールトン・東京のスイートルーム全36室に導入されました。そのスイートスタイル機器も同時に発表いたします。

―今回のコラボレーションの狙いをお願いします。

このフェアのメインテーマである「フュージョン」を具現化することです。素敵なホームファッションを1社で実現することは困難ですが、夫同で取り組むことによって、これからの時代が求めるリビングエンターテイメントのひとつの形がしっかりと提案できると思います。

続いて、モリタインテリア工業㈱に伺った。

―貴社の沿革をお願いいたします。

弊社は1950年9月に、大川市小保において、現代表取締役会長、森田虎雄により、婦人家具製造に着手、森田木工所を創業いたしました。

1970年、創業二〇年を記念し、モリタインテリア工業㈱に社名変更いたしました。

1977年には第二十回全国優良家具展において内閣総理大臣賞を受賞、1982年には森田虎雄が九州・山口経済連合会賞、1985年、森田虎雄が黄綬褒章を受賞。2001年にはコントラクト事業部を立上げ、2004年には森田虎雄会長退任、森田慎一郎社長が就任し現在に至ります。

―今回の出展の目的とアピールしたいポイントをお願いします。

既存の取引先以外の、新規の取引先の開拓を第一の目的に考えています。

ブースでは、家具単体ではなく、トータルで住空間の提案をいたします。

―今回のコラボレーションの狙いを。

現在、家具市場では、テレビの買い替え需要に伴い、TVボードの売り上げが伸びています。弊社も商品構成にTVボード、リビングボードのシェアが増えており、そういった状況の中で、今回不思議な装飾スピーカーのメーカーであるエムズシステム様との商談会を楽しみにしています。当然個ですが、明し空間の中では同業種と考え、他の広がり創出来るのを期待しています。

―ありがとうございました。

（渡邉光）

有限会社エムズシステム
〒104―0041
東京都中央区新富2―11―4
TEL03―5542―7432
モリタインテリア工業株式会社
〒830―0405
福岡県三潴郡大木町大字蔵数500
TEL0944―33―0123